

市町村名		浦添市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①		ガントリークレーン整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア	
担当部署名	西海岸開発局 西海岸開発課		事業実施(予定)年度	平成24~26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(3)	
事業内容	那覇港において、利便性の高い港湾の整備・拡充を実施し、国際物流拠点の形成に必要な港湾機能の強化を図るため、ガントリークレーンを増設する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)
	予算の状況	(a)当初予算額	40,000	-	60,000	-	68,250	-
		(b)予算現額	44,920	-	122,750	-	68,250	-
		(c)増減額(b-a)	4,920	-	62,750	-	0	-
		(d)繰越額	-	29,703	-	42,950	-	15,384
		A.計(b+d)	44,920	29,703	122,750	42,950	68,250	15,384
	B.執行済額		15,217	29,703	79,800	42,950	47,161	13,933
	うち交付金充当額		12,173	23,762	63,840	34,360	37,728	11,146
	次年度繰越額		29,703	-	42,950	-	15,384	-
	執行率(%) (B/A)		33.9%	100.0%	65.0%	100.0%	69.1%	90.6%
予算の状況の説明		・特注品であるガントリークレーンの製作工事において、平成26年度初めの天候不良による資材搬入の遅れ及び夏季における台風や大雨による現場作業等の遅れにより納期が遅延したため、年度内での完了が困難となり繰越となった。 ・平成26年度予算においては、関係者と密に調整した結果、当初予算額よりも低い事業費で執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	目標	那覇港のガントリークレーン4号機製作1基	仕様書作成、3号機製作工事着手	3号機製作・据付(1基、4号機製作)工事着手	4号機製作・据付1基	()		
実績		仕様書作成、3号機製作工事完了	3号機製作1基、4号機製作工事着手	4号機製作・H27年4月据付完了				
達成状況説明	ガントリークレーン4号機については、平成26年度初めの天候不良による資材搬入の遅れ及び夏季における台風や大雨による現場作業等の遅れにより納期が遅延した。しかし、3号機を製作した業者が4号機製作も受注したことから、現場状況を熟知しており製作工期の短縮を図られ、平成27年4月に輸送据付が完了したため、ほぼ計画通りに進捗した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	目標	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン4号機製作1基	()	仕様書作成、3号機製作工事着手	3号機製作完了、4号機製作工事着手	(4号機製作1基)	()	
	実績			仕様書作成、3号機製作工事完了	3号機製作完了、4号機製作工事着手	4号機製作1基		
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P162 那覇港の取扱貨物量		1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	()	()	
進捗状況説明	・成果目標通り4号機製作1基を完了することができた。 ・ガントリークレーン整備は順調に目標を達成してきており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画(平成27年4月)P162那覇港の取扱貨物量)において、貨物増加量に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。							

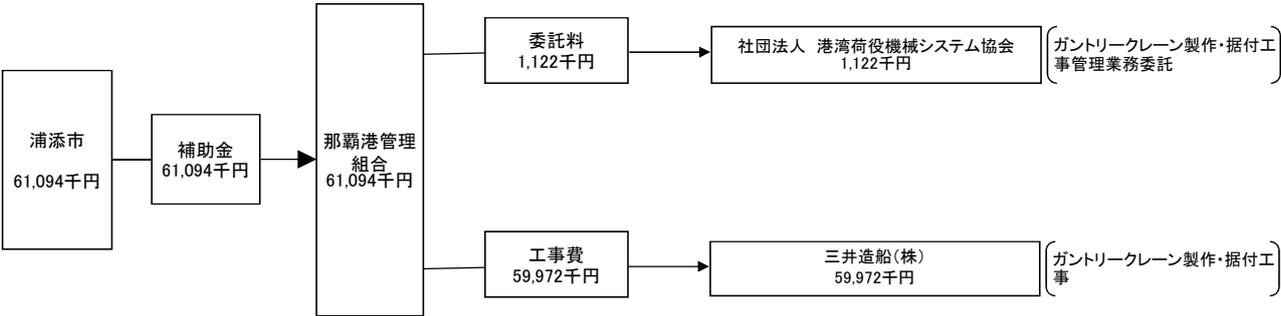
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ガントリークレーン4号機整備においては、平成26年度初めの天候不良による資材搬入の遅れ及び夏季における台風や大雨による現場作業等の遅れにより、当初予定していた事業期間より若干延びた。	関係機関との情報共有、密な調整及び毎週1回程度の工程会議等を行い、徹底した工程管理を行った。

今後の取り組み方針

当該事業は既に完了しているが、類似した事業においては、関係機関との情報共有及び密な調整を行い、スケジュールに想定外の事項が生じないか入念に確認し、作業状況及び現場状況等の把握に努めることが重要である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
61,094	61,094	48,874	12,220	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考えます。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市
------	-----

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-②	那覇港総合物流センター整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(4)-ア
担当部署名	西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				III-1-(3)

事業内容
 本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため那覇港総合物流センターを整備する。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	5,000	—	11,310	—	
	(b)予算現額	5,000	—	11,310	—	
	(c)増減額(b-a)	0	3,885	0	—	
	(d)繰越額	—	—	—	8,110	
	A. 計(b+d)	5,000	3,885	11,310	8,110	
	B. 執行済額	1,115	3,885	3,200	8,082	
	うち交付金充当額	892	3,108	2,560	6,465	
	次年度繰越額	3,885	—	8,110	—	
	執行率(%) (B/A)	22.3%	100.0%	28.3%	99.7%	
予算の状況の説明	・実施設計において、建物仕様決定の重要な要素となる入居が想定される企業(関係者)へのヒアリング等に不測の時間を要したことから、年度内の完了が困難となったため繰越となった。 ・平成26年度予算においては、関係者と密に調整した結果、当初予算額よりも低い事業費で執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度
		総合物流センター実施設計の実施	目標 (基本設計の実施)	(実施設計の実施)	(実施設計の実施)
	実績	基本設計の実施	実施設計の実施	実施設計の実施	
達成状況説明	・活動目標通り総合物流センターの実施設計を実施した。 ・実施設計を行ったことにより詳細な仕様、構造等を検討することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)	
		総合物流センターの実施設計業務の完了	()	基本設計業務の完了	実施設計業務の完了	()	()
				基本設計業務の完了	実施設計業務の完了		
		【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P162 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)	()
進捗状況説明	実施設計において、建物仕様決定の重要な要素となる入居が想定される企業(関係者)へのヒアリング等に不測の時間を要したことから、建築工事がやや遅れている。						

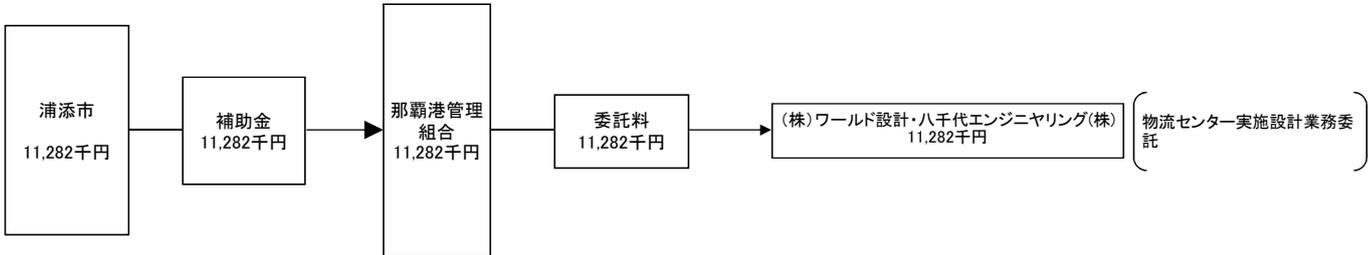
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計の遅れにより、建築工事の着手にも遅れが生じた。 ・建設地が海上の埋立地で軟弱地盤であること、更に支持層が70mと深く、杭工事の施工及び工程管理に細心の注意を要する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築工事の遅れを取り戻すため、早期着手に向けた検討が必要である。 ・早期の実施設計完了、基礎工事の早期発注及び早期着手を行う必要がある。

今後の取り組み方針

建築工事の早期整備完了に向け分割発注を行い、平成30年の整備完了に向け鋭意努める。
 当初、建物本体とランプウェイを構造的に一体として設計を行っていたが、ランプウェイ整備を先行することにより事業期間の短縮を図ること、且つ地震時に物流棟とランプウェイの接続部において、揺れによるひび割れ等の不具合を防ぐため、構造体を分離して発注することにした。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,282	11,282	9,025	2,257	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	浦添市
------	-----

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-④	那覇港起点港機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	西海岸開発局 西海岸開発課	事業実施(予定)年度	平成26年度	観光客の受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	経済波及効果の大きい那覇港発着のクルーズ船を誘致するため、那覇港クルーズターミナルに起点港として必要なチェックインカウンター、X線装置、荷物運搬用具等を整備する。			
------	---	--	--	--

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()			
------	---	--	--	--

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,000	-			
	(b) 予算現額	5,000	-			
	(c) 増減額 (b-a)	0	-			
	(d) 繰越額	-	2,896			
	A. 計 (b+d)	5,000	2,896			
	B. 執行済額	2,104	2,437			
	うち交付金充当額	1,683	1,949			
	次年度繰越額	2,896	-			
	執行率 (%) (B/A)	42.1%	84.2%			
予算の状況の説明	・可動式通路の規格や材質、耐風条件等の仕様の検討において、利用者である船社及び船舶代理店との調整に時間を要したことから、年度内の完了が困難となり繰越となった。 ・平成26年度予算においては、関係者と密に調整した結果、当初予算額よりも低い事業費で執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況		達成状況			
		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度
H26活動目標(指標)	クルーズ船起点港機能の整備	目標 (起点港機能の整備実施)	(起点港機能の整備実施)	()	()
	実績	起点港機能の整備実施	起点港機能の整備実施		
達成状況説明	チェックインカウンター、手荷物検査用のX線装置等については平成26年度内で整備したが、可動式通路については仕様の検討段階において利用者である船社及び船舶代理店との調整に時間を要し、平成27年6月に供用開始した。				

成果目標(指標)及び進捗状況		H26成果目標(指標)					目標値(年度)
		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	29年度	
クルーズ船起点港機能の整備完了 ①チェックインカウンター ②X線装置 ③荷物運搬用具 ④可動式通路	目標	()	(起点港機能の整備完了)	()	()	()	
	実績		起点港機能の整備完了 H27.6供用開始				
【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P181 那覇港の年間旅客者数	目標	59万人(23年)	90万人(28年)	98万人(33年)	()	()	
進捗状況説明	可動式通路については仕様の検討段階において利用者である船社及び船舶代理店との調整に時間を要し、平成27年6月に供用開始したが、チェックインカウンター、手荷物検査用のX線装置等については目標通り平成26年度内で整備した。						

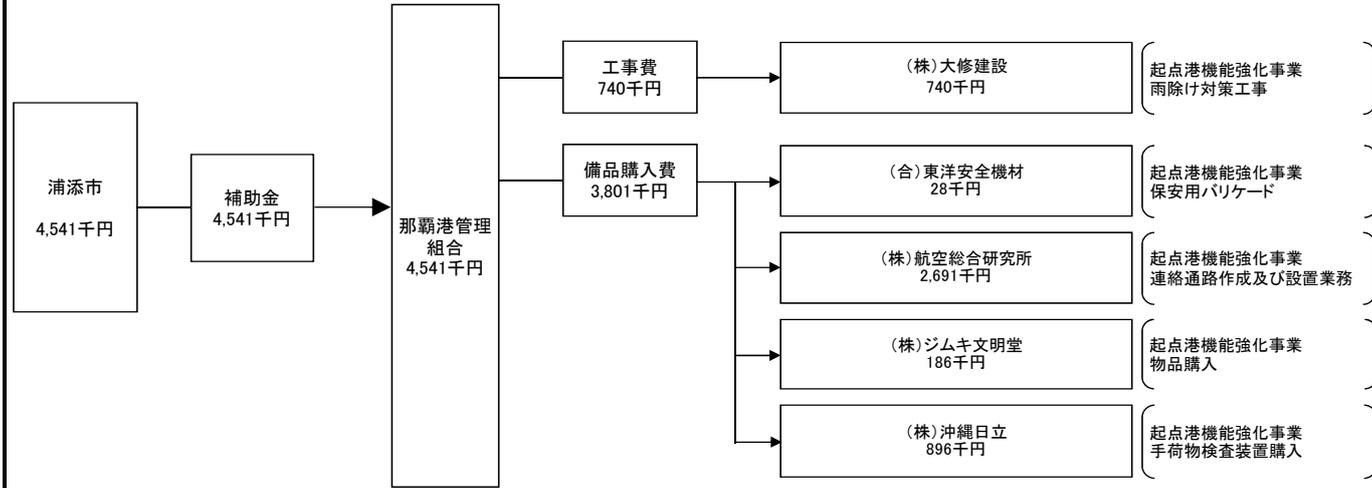
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	国内の港湾での利用実績が乏しいこともあり、可動式通路の規格や材質、耐風条件等の仕様の検討において利用者である船社及び船舶代理店との調整に時間を要した。	可動式通路納入時において関係者に対し、設置、移動及び撤去方法の講習、教育等を行い、効率よく使用するように図った。

今後の取り組み方針

当該事業は既に完了しているが、類似した事業においては、関係者へ充実した講習及び徹底した教育等を行うことにより、供用開始時に混乱等がないように取り組むことが重要である。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
4,541	4,541	3,632	909	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考えます。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目、用途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	